

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1 施設名	仙台市市名坂児童館	
2 指定管理者	特定非営利活動法人MIYAGI子どもネットワーク	
3 指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日	
4 施設の利用状況	《利用者数》 令和5年度 21,603人(前年度比 108.3%) 令和4年度 19,949人 令和3年度 18,977人	
	《事業》 ・児童に健全な遊びを与え、その健康を増進し、情操を豊かにすることを目的とした児童厚生施設としての事業	
5 収支の状況	《費用》 ()は前年度決算額 ・ 指定管理者に支払った費用 49,340千円 (42,675千円) ・ その他市が負担した費用 0千円 (0千円)	
	《収入》 ・ 使用料収入 0千円 (0千円) ・ その他収入 0千円 (0千円)	
6 利用者の声	《実施状況》 ・利用者アンケート、児童館地域運営懇談会、児童クラブ保護者懇談会を実施。	

二 管理運営に係る評価（モニタリングシートの結果によって評価）

評価分野	所見	評価
I 総則	「児童館ガイドライン」等に基づき、設置目的を踏まえた施設運営上の基本方針を定め、職員への共通理解を図るとともに、館内掲示等で利用者にも周知している。職員の倫理保持・服務規律遵守については、研修や会議、チェックシート等で確認する取り組みを行っている。また、地域の特性やニーズを踏まえながら各事業に取り組み、施設目的の達成に努めている。	33/33
II 施設の運営管理体制	職員の配置や業務内容の共有、開館の実績、経理書類の作成、個人情報の保護等について適切な管理体制が構築されている。また、各種マニュアルの整備、施設内外の点検の実施により、利用者の安全に留意した運営に取り組んでいる。 また、令和5年度においては努力義務である安全計画を策定し、児童・利用者への安全教育や事故・災害時の対応の共有、事故防止のための体制の構築に努め、利用者の安全確保に繋げている。 なお、児童館管理業務仕様書において月に1回以上実施しなければならないと定めている避難訓練等を実施していない月があった。	30/30
III 施設・設備の維持管理	日常的・定期的な点検や清掃により、建物・設備・外構等が適切に維持管理されている。備品や鍵の管理も適切に行われているほか、施設内外の巡回や仙台市環境行動計画に則った取り組みも実施されており、安全で快適な環境が保たれている。施設内外の環境美化にも努めており、特に児童館フェンス沿いに飾られた季節の鉢花は地域からも好評である。	24/24
IV サービスの質の向上	名札の着用、児童館だよりの発行、ホームページの更新による利用情報の提供等、利用者が利用しやすい環境づくりに努めている。また、各種研修会への参加を通して職員の専門性を高めているほか、意見箱の設置、アンケートの実施等で利用者のニーズを把握し、施設運営に生かすなど、サービスの質の向上に努めている。	28/28
V 施設固有の基準	児童クラブにおいては、子ども達が安心して過ごせる生活の場を整え、学校を中心に各関係機関と連携して育成支援に取り組んでいる。また、乳幼児親子向けの行事開催や交流の場の提供により子育て家庭を支援すると共に、小中高生に対して、発達段階に応じた遊びの指導や活動支援を行っている。地域との交流事業においては、日頃の情報交換や様々な工夫を凝らした事業で地域連携の保持に努めている。	18/18

三 評価総括

《指定管理者（特定非営利活動法人MIYAGI子どもネットワーク）による自己評価》
<p>「笑顔がいっぱい」「仲間がいっぱい」「支えあいがいっぱい」のスローガンの具現化を目指して児童館運営に努めた。</p> <p>児童健全育成事業としては、施設内の遊具・図書等の充実に努め、裏庭・畑・花壇等環境整備に努めながら、豊かな遊びと自然体験及び館祭りなど「がきんちよ四季楽好」等の事業を創意工夫し実施してきた。</p> <p>子育て支援事業では、転勤族、核家族世帯の多い地域の事情を踏まえ、乳幼児親子同士の交流・育児の悩み相談・身体を動かし発散の場となるような行事や居場所作りに配慮し、乳幼児親子の穏やかな笑顔が広がる行事や時間を提供できた。来館者への声かけ、出前児童館等による集客が今後の課題である。</p> <p>児童クラブは登録児童157名でスタートし、学校と緊密な連携協力の下、一人一人の丁寧な対応に努めてきた。今後も「子どもの笑顔を家庭のリビング」へ広がるよう家庭と連携して運営に励んでいきたい。地域の児童館として、自由来館児童の利用促進を積極的に図りたい。</p> <p>地域交流事業としては市民センターを拠点とする「遊びの天国」へ協力し、「ジュニアリーダーと遊ぼう」という共催行事も実施した。地域の集会所で出前児童館を開催した。四季折々の花で児童館前の通りを「マイフラワーロード」として飾り、学校の森灯りファンタジー（4年目）とともに、地域の方々にも喜んでいただいた。利用者・児童・保護者アンケートでのご意見や地域運営懇談会での貴重なご意見を「地域に愛される児童館をめざし」今後の運営に生かしていきたい。</p>

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>児童健全育成事業においては、「本の紹介月間」として児童が自分の読んだ本を紹介カードに記載して館内に掲示する取り組みを行った。併せて、職員による読み聞かせタイムを設けたり、日々の中で少人数での読み聞かせ、児童と職員による読み聞かせ「おはなしポケット」を開催し、豊かな感性と自主性や社会性を育てている。「将棋教室」はボランティアの協力を得ながら定期的に開催しており、遊びを通じた世代間交流の機会となっている。</p> <p>子育て家庭支援事業においては、「プラレール・おもちゃday」を保護者の要望を受けて、令和5年度から新たに開催した。毎月定期的に実施しており、前日に小学生が乳幼児親子のためにプラレールを遊戯室に設定し翌日に乳幼児親子が遊ぶ取り組みは遊びの提供と共に、間接的な交流の場、保護者が子どもの成長への見通しを持てる機会となっており、乳幼児親子から好評を得ている。</p> <p>地域交流推進事業においては、児童館主催で行っていた「灯りファンタジー」を、令和5年度からは、市名坂小学校、子育て支援クラブの協力のもと隣接のこども園と共催で開催し、地域のイベントとして多くの方が参加する行事となっている。寄せ植え等で児童館前を彩る「マイフラワーロード」においても地域の方々の協力があり、児童館が積極的に地域と関わり地域の方が応援してくれる関係作りができており、成果として表れている。</p> <p>放課後児童健全育成事業においては、「チャレンジカップ」としてぬりえコンテスト、マンカラ大会等を年間通して開催し、日々の遊びの充実にに向けた支援を行っている。フットベースやストラックアウトを楽しむ「親子でエンジョイ」は、児童クラブ保護者が主催し児童館が共催で実施しており、保護者の主体的活動を支援しながら児童の様子や成長を共有できる機会を提供している。</p>	S

四 その他特記事項（上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取り組み等、特に記載すべき事項があれば記載する）

特記事項

◎ 評価担当課(施設所管課):こども若者局こども若者支援部児童クラブ事業推進課